

昭和51年9月台風

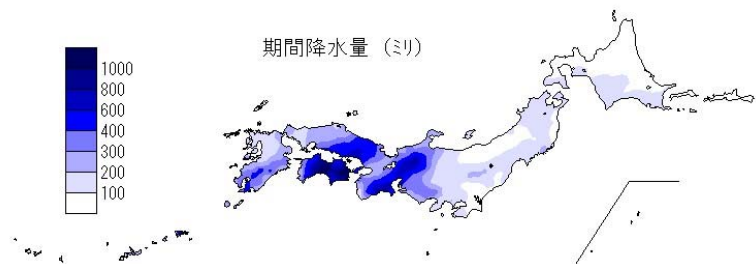
昭和51(1976)年9月8日～14日

■気象の概況

この年の9月4日に太平洋南部・トラック島（ミクロネシア連邦）の北西海上で発生した台風第17号は北西に進みました。9日に日本の南西諸島を通過後、10日から12日朝にかけて九州の南西海上でほぼ停滞しました。12日午前には北上を始め、13日午前1時40分頃、長崎市付近に上陸した後、日本海へ進み、速度を速めて北上、14日朝には温帯低気圧に変わりました。

この台風は長期間日本付近にあり、前線が広く関東から四国付近に停滞していたため、全国的に大雨となり、土砂災害や洪水が多発しました。九州から中部地方にかけては、期間降水量が500～1000ミリに達し、四国地方では2000ミリに達したところもありました。香川県・小豆島の内海町で期間降水量が1328ミリと平年の年間降水量を超える大雨。このため、土石流や洪水で多数の死者・負傷者が出たほか家屋の被害も甚大でした。岐阜県では長良川の上流で1000ミリを超える雨が降り、堤防が決壊して多くの家屋が浸水しました。

全国で死者161人、行方不明者10人、負傷者537人、住家全壊1669棟、半壊3674棟、床上浸水101103棟、床下浸水433392棟などの被害が出ました。



■被害の状況

中国地方では広島、岡山両県で特に大きな被害が出ました。中国新聞9月11日付は「超大型の17号 枕崎台風そっくり 警戒強める予報官 遅い速度にイライラ」と報じています。大型台風であるにもかかわらず、速度が遅い点が1945年9月に西日本一帯に甚大な被害をもたらした枕崎台風と似ている、とみられていました。この懸念は的中しました。

岡山県東北部では雨量が200ミリを越え、河川の氾濫や土砂崩れが発生し始めています。広島県では福山市加茂町の中山畜産農場で裏の土手が崩れ、従業員一人が生き埋めになって亡くなりました。鳥取県智頭町では鉄砲水に押し流されて一人が亡くなりました。国鉄山陽線、山陰線では新幹線を含めて運休が相次ぎました。

中国新聞12日付ではさらに被害が広がっています。台風は九州南海上にあり、直撃は受けていません。

「中国地方も被害広がる 岡山で死者・不明9 土砂崩れや鉄砲水」と見出しにあります。高梁市下谷町では4人が鉄砲水に押し流され、2人は助かり、2人が亡くなりました。日生町では住宅が押しつぶされ、3人が亡くなるなど惨事が続き、備前市など1市4町に災害救助法が適用されることになりました。広島県では福山市の二か所で裏山が崩れるなどして生き埋めになり、2人が死亡、2人が救助されました。うち福山市草戸町の現場付近は山裾まで住宅が建て込み、崩れた山は水分を含みやすいマサ土が露出し、8日からの雨で緩んでいたらしいと報じられています。



1976年9月台風の被害を報じる中国新聞紙面



笠岡市北木島の家屋の被害（岡山県土木部防災砂防課・砂防資料室）

中国新聞13日付は「豪雨禍の尾道 裏山から土砂の直撃 生き埋め5人死ぬ 急斜面、一気に崩れる」と地紋見出しで報じました。尾道市では千光寺山と西国寺山の二か所の急斜面で崩壊が起き、複数の住宅が押し流されて死者・行方不明者が出ています。続報は「松林がえぐり取られ、赤い地はだがパッキリ口を開けていた。畳二枚分はあろうか、千光寺山特有の大岩がころがり、松の大木が根元からポッキリ折れ、民家に突き刺さっていた」とルポしています。

岡山県では笠岡市や岡山市で新たに7人の死者が出る惨事が発生、家屋の浸水は全県で1万7千戸を超えました。笠岡市北木島では市議夫妻が亡くなりました。「まさか2度目が…」という見出しもあるように、死者の多くは住宅とともに土砂の下敷きになったとみられます。小さな土砂崩れの後、片付けに来ていた縁者や隣人が巻き込まれたケースもありました。

岡山県ではこの台風で最終的に死者17人、行方不明者1人、負傷者93人を出しています。家屋は全壊152戸、半壊234戸、床上浸水6321戸、床下浸水26725戸と記録されています。

トピック

国立ハンセン病療養所（瀬戸内市・長島）の被害

この台風により岡山県内で最も雨量が多かったのは邑久町虫明（現瀬戸内市）の当時は離島だった長島です。であり、二つの国立ハンセン病療養所、長島愛生園と邑久光明園で大きな被害が出ました。両園の園誌からたどってみます。

光明園の創立百周年記念誌「隔離から解放へ」（2009年）では見開き2ページにわたって記録しています。9月8日から13日までの総雨量は967ミリ。園内のあちこちで崩落や浸水が発生し、特に低地の藪池地区では高さ20メートル、幅100メートルにわたって土砂崩れが起き、娯楽会館やミシン場が全壊しています。被害総額は6億円に上りましたが、人命にかかわる事故がなかったことは幸いでした。この台風は幾つかの教訓を残し、特に緑化の必要性が叫ばれて入所者自治会は以後、緑化委員会を設けて植樹などを進めた、とあります。園内の復旧工事は翌年の77年1月に着工し、7月に完了しました。

また80年誌「風と海のなか」（1989年）によると、台風の接近に施設と自治会で警戒態勢が組まれ、76年9月12日から16日まで「避難命令」が出ていました。一時的に電話の不通、停電、断水などが起き、島は完全に孤立したとのこと。光明園は大阪湾岸にあった前身の外島保養院が1939年9月の室戸台風で壊滅する大惨事を経験しており、外島以来の入所者にとっては二度も恐怖の体験をしたことになる、と記されています。

愛生園の自治会史「曙の潮風」（1989年）も当時の恐怖を詳細につづっています。「緑の島とうたわれた長島も虫害木で荒れ果て花崗岩の腐蝕した真砂土の禿山から鉄砲水となり、傾斜地に建てられた患者住宅はほとんど土砂に押し流され埋没、電灯、電話線はいたるところで切断、水道管も海底をはじめ園内の土砂崩れにより断水、職員も本土との交通遮断のため出勤できず、長島は恐怖のどん底に陥り、

さながら地獄の様相となった」。こちらも危険地区の居住者を平地のライトハウス、老人福祉会館などに避難させていて全員無事でした。避難者は470人に上りました。しかし、家財道具一切を失った人は多く、建物の全壊16棟、半壊15棟などの被害が出ました。

離島であるため通信の途絶も深刻で、一連の被害は朝日新聞の取材ヘリから警察署に無線で伝わり、孤立が分かったのは3日後だったといいます。この災害によって本土との間の架橋（長島架橋）の機運が高まります。両自治会の運動もあり、実際に邑久長島大橋が完成したのは災害から12年後の88年でした。

虫明と長島の間は／呼べばとどくほどの／せまい瀬戸内海の流れだけだ／でも／虫明と長島の間にはもっともっと大きいへだたりがある／長島と大阪の学生よりもっともっと距離がある／なぜ長島に橋をかけないのだろう／病人の考えも聞かず／島に病人をとじ込めた国のやり方／私は疑問に思う…

70年当時、地元の裳掛中学校生徒だった野崎やよいが入所者との交流祭を詩にしたものです。架橋や療養所との融和への願いが隔離政策のありようを厳しく問うている、と「邑久町史 通史編」（2009年）は記述しています。

この台風では邑久町の本土側でも千町川と干田川が氾濫し、低地一帯が浸水しました。人的被害こそありませんでしたが、家屋の全半壊をはじめ浸水被害は大きかったのです。特に千町平野の水田は最長で4日間冠水し、収穫前の水田に大きな被害が出ました。また、千町平野地区と裳掛地区の住民には避難命令が出され、町から自衛隊への派遣要請も出されました。



邑久光明園の建物の被害（岡山県土木部防災砂防課・砂防資料室サイト）



海上から見た邑久長島大橋。1976年の台風による孤立は架橋の必要性を実証したという。右手が療養所のある長島（2022年）

トピック

倉敷市真備町の水害と伝承

2018年の西日本豪雨で甚大な被害を出した倉敷市真備町は水害常襲地帯で、1976年9月の台風17号でも少なからぬ被害を受けています。合併前の旧真備町が編纂した「真備町史」は「水害と治水」に一章を割いているほどで、さらに「水害史」と「治水史」に分けています。76年は9月8日からの降雨が6日間続き、総降雨量は474ミリ。小田川が決壊寸前になりましたが、応急対策で決壊は免れました。しかし、末政川以東は大きく冠水しとなり、半壊3棟、床上浸水79棟などの被害が出て、水田は広範囲に冠水し、水稻は出穂直後だったため全滅したそうです。論文「2018年7月豪雨により倉敷市真備町で発生した洪水災害の特徴と土地利用の変遷」（学会誌「自然災害科学」2019年）によると、76年の水害は真備町の人口が急増していく時期に当たったため、新住民の多くにそれまでの水害の記憶が受け継がれず、西日本豪雨の被害の拡大につながったとみられます。

真備町の災害伝承は「明治26年台風洪水」でも触れていますが、76年の台風は川辺地区の川辺小校



川辺小学校内の石碑
(2023年撮影)



真備公民館川辺分館に表示された西日本豪雨の浸水レベル
(2023年撮影)



川辺小の通学路に
「指定避難場所」を示す立札
(2023年撮影)

庭の石碑に遺されています=写真左、2023年撮影。産経新聞の報道によると、地上75センチの位置に横線が刻まれていましたが、校庭の土の入れ替えなどで石碑は埋もれて低くなっています。石造物は風化しないと思われがちですが、このようなケースもあるといえます。川辺小の通学路には「指定避難場所」を示す新しい立札が立っています。真備公民館川辺分館の外壁には西日本豪雨の浸水レベルが表示されています。